



「よりリラックスして出産できる環境を整えました」と(左から)日下院長、松本師長、伊藤・事務職員

より自然な“お産”追求

湘南鎌倉バースクリニック

5月1日にオープン

——バースクリニックを開設する意義は？

日下 近年、高齢妊娠や、体外受精後の妊娠など、従来とは違う妊娠に対する分娩リスクがクローズアップされています。また、オキシトシンというホルモンが注目され、お産に対する新たな視点も見えてきました。お産の様相が変わりつつあるなか、新たに施設を開設して機能を分けしつかり対応しようというのが狙い。

——湘南鎌倉病院お産センターとの棲み分けは？

日下 お産センターではリスクの高い方、バースクリニックでは自然分娩

湘南鎌倉バースクリニック(神奈川県、19床)が5月1日、開院する。湘南鎌倉総合病院(同)の「お産センター」の機能分化・強化を図り、同クリニックは主にリスクの低い分娩に対応する。開院を間近に控えたなか、中心的な役割を果たす日下剛院長、松本智恵師長(助産師)、伊藤安衣・事務職員にクリニックの特徴などを聞いた。4月24日には一般の方向けの内覧会(無料)を行う予定。

が可能なリスクの低い方に対応します。クリニックを利用するなかで、万一、何か起こってもスムーズに対応できるように、お産センターとカルテを共有し連携を図ります。

——オキシトシンとは？

日下 体内で分泌されるホルモンです。従来、体に作用すると陣痛が起これば、お産が進み、産後は母乳を出すものとして認識されてきました。しかし、十数年前からオキシトシンが共感や許容など感情の変化に関係していることが指摘され、陣痛を起こすだけでなく、子どもへの愛着を感じさせる効果があるともいわれるようになりました。

このように、心とお産、さらに育児との関係が明らかになりつつあります。湘南鎌倉バースクリニックは、このオキシトシンが分泌されやすいといわれる、リラックスした環境をハード・ソフトの両面から整え、できるだけ従来から行っている自然なお産を目指しています。

——クリニックの具体的な特徴は？

松本 ハード面では全個室、部屋のタイプも和洋室そろえました。どの部屋にも家族と一緒に宿泊できるスペースを確保し、お産の時も立ち会う



完成間近のバースクリニック。三角屋根の最上階がレセプションホール

ことができます。

日下 色遣いや照明にも配慮し、落ち着ける空間づくりを実現しました。

——ソフト面は？

日下 通常の妊婦健診に加え、3つのプログラムを用意しました。妊娠26週目から出産に向け、できれば家族と一緒に事前学習を受けていただきます。また、マタニティーヨガやマタニティー専門の鍼灸を検討中です。

伊藤 食事もいろいろ考えています。出産時に提供するお祝い膳を家族も食べられるようにしたり、5階のレセプションルームで、皆で食事ができた

りするように調整中です。松本 レセプションルームにはオープンキッチンを完備しているので、妊娠中にも体のケアをしていただけるように料理教室などを計画しています。

——産後のサポートは？

伊藤 周囲のサポートを得るのが難しい場合、産後2カ月以内、2週間を限度に産褥入院ができるように準備しています。

日下 産後うつがニュースなどで取り上げられます。オキシトシンが信頼・協調などに影響を及ぼす

のは、周囲を信頼・協力して子どもを育てるために必要なことで、そもそも私たちは母親ひとりでも子どもを育ててきたわけではないのです。

集団イベントを企画しているのも、できるだけ多くの人と信頼、協働できる関係性を築き、皆で育てる意識を育んでいきたいからです。

4月24日に内覧会 湘南鎌倉バースクリニック

湘南鎌倉総合病院(神奈川県)は4月24日、新たに開設する「湘南鎌倉バースクリニック」の内覧会を開く。一般の方も参加可能で費用は無料。同クリニックは従来、湘南鎌倉病院が行ってきた正常分娩や産後入院の機能を担う。地上4階、地下1階建ての19床。病室は全個室だ。出産前に妊婦さんの家族が宿泊できる場所も完備するなど、リラックスして出産できる環境を実現。開院は5月1日を予定している。

日時:4月24日(日)午後1~4時

場所:神奈川県鎌倉市山崎1090-5

※湘南モノレール「富士見町」駅から徒歩3分

費用:無料

問い合わせ先:☎0467・46・1717